



人がつながる居場所

JA 愛知東
「つくしんほうの会」
むらを
支える^①

介護予防に子育て、障害者への応援——。行政や企業が担いきれないはざまで支援を求める人に、農村の女性たちが積極的に手を差し伸べている。解決が必要な地域の課題に取り組む女性たちの動きを追った。

高齢者福祉

の良い弁当を前に満足気だ。ミニディでは、会が手掛けるジャムや煮豆などの加工品も販売。「近くにお店がないから助かる」と好評だ。

農村の過疎化で、回余だ。ミニディでは、会が手掛けたジャムや煮豆など加工品も扱い、運営他に家事援助、病院内ボランティアと高齢者福祉

の良い弁当を前に満足気だ。ミニディでは、会が手掛けたジャムや煮豆など加工品も扱い、運営他を傾ける会員が多い。ミニディが「居場所」として必要となる。

拓くべき農婦たち

第3部



頭と手先を使う貼り絵作りを楽しむ、ミニディサービス（愛知県新城市で）

高齢者の介護予防に必要な視点は、孤立・閉じこもりをいかに防ぐかだ。活動動作が衰える、

介護予防へ力発揮を

高齢者の介護予防に必要な視点は、孤立・閉じこもりをいかに防ぐかだ。活動動作が衰える、

ど身体・環境・心理的要因が重なって閉じこもり、心身機能を使わなくなり、ひいては寝たきりとなる。この負の連鎖を

断ち切るのが、ミニディ

多くのなど、地域の問題をみんなで考える②活動場所や仲間の有無を調べる③社会福祉協議会など相談できる存在を確保す

多めのとから始める⑤身近なところについての実施するポイントは①一人暮らしのお年寄りが進める——などだ。

市川一宏氏に聞く

ルーテル学院大学教授

親族を失う、出掛けの必要性は、孤立・閉じがおつきになる——な

愛知県新城市内の会場

に、お年寄りが次々集まる。JA愛知東の助けあ

い組織「つくしんぼうの会」が開く、「ミニティサービスだ。おしゃべりや体操、貼り絵作りなどをして過ごす。この日参加した9人のうち、5人は一人暮らしした。90代の女性は「家の中でぼつんといれるより樂しい」と笑顔で話す。80代の女性は

「一人の食事はおいしくないから、いい加減になつちゃうのよね」と、会

員手作りの栄養バランス

サービスやサロンなど、身近なところについての実施するポイントは①一人暮らしのお年寄りが進める——などだ。

多めのとから始める⑤身近なところについての実施するポイントは①一人暮らしのお年寄りが進める——などだ。

これらを踏まえ、地域に合わせて柔軟に活動を発展させる。例えば農村

で始めたとから始める⑤身近なところについての実施するポイントは①一人暮らしのお年寄りが進める——などだ。

て、出荷者が茶を飲み、体操をする場をつくる。

ミニティーやサロンの効果は自立意欲、生活リズム、人間関係などを維持することだ。女性農業者の田畠のこつけした活動が、お年寄りへの見守りも果たす。地域福祉とは、住民主体で動くまちづくりだ。人、施設、ネットワークといった地域資源を活用する。介護予防に、JA女性組織の能

意欲を引き出す工夫

会は、JAのホームヘルパー研修を受けた女性を中心と1998年に設立した。現在、40～70代の38人が活動する。ミニディは月に15～20回実施。

サービスを提供する。ミニティの昼食は当初、仕出し弁当だったが、味付けが濃いなどお年寄りの口に合わず、残ることが多くたため、手作りに切り替えた。2005年にJAの遊休施

設を厨房（ちゅうしつ）とミニティができる部屋に整備。以来弁当だけではなく加工品も扱い、運営資金を充てる。

農産物加工で農村暮らし農村の過疎化で、回余だ。ミニティができる部屋に整備。以来弁当だけではなく加工品も扱い、運営資金を充てる。

農村の過疎化で、回余だ。ミニティができる部屋に整備。以来弁当だけではなく加工品も扱い、運営資金を充てる。